

トコフェロール量がアルガンやサボテンの **3-4 倍** の高浸透植物オイル

Kalahari Melon Seed (KMS) Oil

全成分表示名称：スイカ種子油（INCI: CITRULLUS LANATUS SEED OIL）

Background

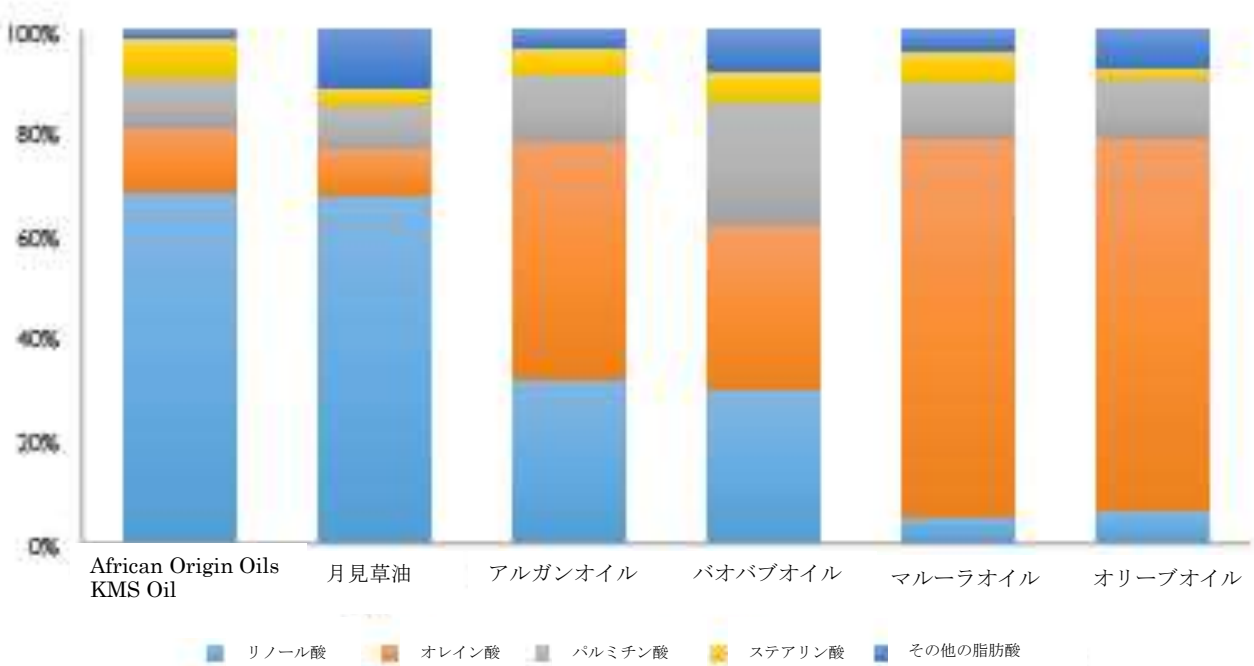
Kalahari Melon（カラハリメロン）は有史以前から存在した現在でいうスイカの祖先にあたる。南部アフリカのカラハリ砂漠（地球上で最も乾燥した場所の一つ）に由来し、その地域の狩猟採集民族サン人は水分を得るためにこの果実に頼っており、彼らにとっての命綱ともいえるものであった。実際にサン人は砂漠を旅する際には乾燥と日光から肌を守るためにこの油を利用していた。

カラハリメロンの種子からプレスして得たオイルは健康的な生活を送るために必要なオメガ 6 必須脂肪酸であるリノール酸（Linoleic Acid）を非常に高濃度で含んでいる。それは肌バリアの構成成分でもあり、抗炎症効果や老化に伴う乾燥や皮膚萎縮（薄さ）を改善することが証明されている。

特徴

- ・アルガンやバオバブといった他の tree-based oil の場合は製造の上限が決まっているが、Kalahari Melon の場合は需要に応じて上限を調整できるため、持続的な提供が可能である。
- ・肌への浸透性が非常に優れており、素早く肌に吸収される。
- ・高濃度リノール酸、トコフェロール（Vitamin E）含有。抗老化、抗シワ、抗炎症（傷）、保湿作用が期待できる。

化粧品に利用される他の天然オイルとの脂肪酸組成の比較



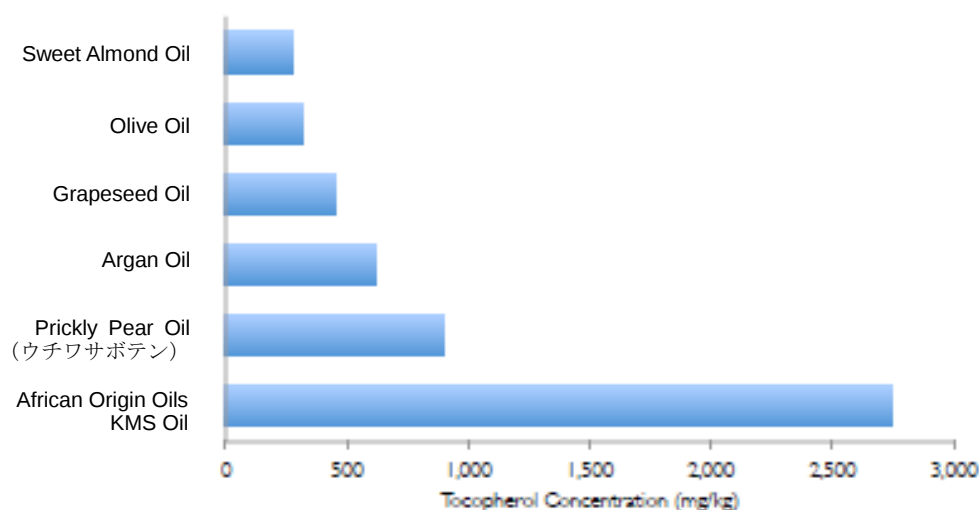
エイチ・ホルスタイン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11

Tel. 03 5213 5541 / Fax 03 5213 5549

info@holstein.co.jp / www.holstein.co.jp

化粧品に利用される他の天然オイルとのトコフェロール（ビタミンE）の比較



KMS Oil 中の全脂肪酸組成

脂肪酸	g/100g oil
C14:0 Myristic acid	0.03
C16:0 Palmitic acid	9.77
C16:1 Palmitoleic acid	0.03
C17:0 Margaric acid	0.05
C17:1 Glinkgolic acid	0
C18:0 Stearic acid	7.92
C18:1 trans Oleic acid	0
C18:1 cis Oleic acid	12.74
C18:2 trans Linoleic acid	0
C18:2 cis Linoleic acid	68.68
C18:3 n6 Linolenic acid	0.01
C18:3 n3 Linolenic acid	0.19
C20:0 Arachidic acid	0.26
C20:1 Eicosenoic acid	0.11
C21:0 Heneicosanoic acid	0
C22:0 Behenic acid	0.05
C24:0 Lignoceric acid	0.08
C24:1 Nervonic acid	0

- ・形状：薄い金色の液体
- ・ヨウ素価：129
- ・けん化価（mgKOH/g）：187
- ・過酸化値（meq/kg）：7.60
- ・遊離脂肪酸：1.68
- ・酸価（mgKOH/g）：3.33
- ・比重：0.921

（左記と上記数値は2015年4月から10月に製造された4つのBatchのデータの平均値）



エイチ・ホルスタイン株式会社

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-4-11
 Tel. 03 5213 5541 / Fax 03 5213 5549
info@holstein.co.jp / www.holstein.co.jp